

提案日	2021年	9月	29日
修正・再提案日	2021年	10月	29日

R D U F 小委員会 提案書 (案)

1. 運営区分

1. 関係者間で利用可能な提言・標準等の作成を目指す。

2. テーマ (小委員会名)

- ・ 研究データへの DOI 登録促進

3. 目的

- ・ DOI (デジタルオブジェクト識別子) 登録機関である JaLC は 2014 年から 2015 年にかけて、「研究データへの DOI 登録実験プロジェクト」を立ち上げ、成果物として「研究データへの DOI 登録ガイドライン」を取りまとめた。
- ・ 当時、研究データへの DOI 登録に関しては、世界的にも様々な課題の検討が進められている段階であり、日本においてはほとんど知見が無い状態であった。
- ・ 成果物の取りまとめから 6 年が経過し、国内においても研究データへの DOI 登録に関する運用経験の蓄積が進んでいる。一方で、ジャーナル論文・書籍等と比較すると研究データへの DOI 登録はあまり進んでいない。
- ・ オープンサイエンスの拡大や、引用など学術成果としての活用において、研究データへの DOI 登録の重要性は今後ますます高まると考えられる。
- ・ 本小委員会では、現在の研究データへの DOI 登録に関する運用経験、実情、課題等を調査・議論し、「研究データへの DOI 登録ガイドライン」の改定、あるいは現状に即した新しいドキュメントを作成することについて検討する。「研究データへの DOI 登録ガイドライン」改定版等ドキュメントや、検討・調査結果等を成果物としてとりまとめることで、研究データへの DOI 登録促進を目指す。

4. 成果物

- ・ 「研究データへの DOI 登録ガイドライン」改定版 (仮)
- ・ 研究データへの DOI 登録促進に向けた提言 等
- ・ 検討・調査結果記録

5. 成果のインパクト

- ・ 「研究データへの DOI 登録ガイドライン」改定版 (仮) のとりまとめにより、新たに研究データへの DOI 登録を希望する機関、リポジトリ運営者、データ作成者等の、検討・運用時の負担を軽減することが期待できる。
- ・ 研究データへの DOI 登録に関する国内外の実情について調査・取りまとめることで、今後の課題や方針が明確になる。

6. 小委員会の活動計画

月に 1～3 回程度の打ち合わせを行い、以下を進める。

- ・ 「研究データへの DOI 登録ガイドライン」(仮) 内容の確認、改定箇所・進め方検討
- ・ 国内外における研究データへの DOI 登録状況の調査
- ・ 「研究データへの DOI 登録ガイドライン」(仮) 改定作業
- ・ 「研究データへの DOI 登録ガイドライン」(仮) 改定版の英訳作業
- ・ その他、必要に応じて調査結果等のとりまとめ 以下を進める。

年間を通してのスケジュール案は以下の通り。

2021 年 11 月 小委員会設立、メンバー募集、調査・情報収集開始

公開シンポジウムにて小委員会紹介
2022年 4月頃 成果物とりまとめ・作成開始
9月頃 成果物について企画委員会審査、公開
10月頃 活動報告書作成・提出

7. 初期委員（所属）

- ・ 武田 英明（国立情報学研究所）（発起人）
- ・ 中島 律子（科学技術振興機構）（発起人）
- ・ 海老沢 研（宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所）
- ・ 門平 卓也（物質・材料研究機構）
- ・ 北本 朝展（国立情報学研究所）
- ・ 白井 知子（国立環境研究所）
- ・ 高井 貴子（日本医療研究開発機構）
- ・ 林 和弘（文部科学省 科学技術・学術政策研究所）
- ・ 村山 泰啓（情報通信研究機構 NICT ナレッジハブ）
- ・ 八塚 茂（科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター）

8. その他

開始後も適宜、下記関係者に広く声をかけ、議論への参加を促す。

- ・ 研究データへの DOI 登録経験のある機関
- ・ 研究者等、研究データのオーナー（データの作成者や管理者等）
- ・ 研究データへの DOI 登録を新たに検討している機関
- ・ データリポジトリや機関リポジトリ関連での実働経験者

以上